

新生児聴覚検査を受診しましょう



病院で「赤ちゃんの耳の検査」を案内されました。
生まれてすぐに耳の検査を受けたほうがいいのかしら?

新生児聴覚検査とは、聴こえにくさを調べるための検査です。

赤ちゃんの1,000人におよそ1人が、生まれつき聴こえに障害があるといわれています。

聴こえにくさはことばの発達と大きく関係がありますが、早期発見による早い段階での適切な治療と支援を受けると、その後の成長や発達に大きな効果があると考えられています。

八王子市では赤ちゃんの健やかな成長のため、この検査を受けることをお勧めしています。

いつ・どこで受けるの?

生後3日頃、出産した医療機関で検査を行うことが一般的です。入院中に受けられない場合には、こども家庭センターへご相談ください。



*費用や検査方法は医療機関によって異なります。

必ず受ける必要があるの?

耳の聴こえにくさは外見からは分かりにくいものです。早期発見のために検査を受けることをお勧めします。検査は赤ちゃんが眠っている間に、短時間で終了します。



検査について心配なことがあるときや、詳しく知りたいときには、こども家庭センターにご相談ください。

こども家庭センター 大 横 母子保健担当 電話：042-625-9200 大横町11-35(大横保健福祉センター内)

こども家庭センター 東浅川 母子保健担当 電話：042-667-1331 東浅川町551-1(東浅川保健福祉センター内)

こども家庭センター 南大沢 母子保健担当 電話：042-679-2205 南大沢2-27フレスコ南大沢公共棟1階(南大沢保健福祉センター内)

裏面「八王子市新生児聴覚検査費用助成のお知らせ」もご覧ください。